

(様式3) 目的設定表(令和04年度) 予算区分:通常

要求区分：令和 4年度当初予算

確定日（令和04 年 07 月 27 日）

事業コード

06040102

事業名

ニューノーマルに対応した体験活動構築事業

部局名

教育委員会

課室名

生涯学習課

政策コード

06

施策コード

04

指標コード

01

政策名

教育・づくり戦略

施策名

豊かな心と健やかな体の育成

施策目標(指標)名

規範意識と自己を尊重する心を育む教育の推進

班名

社会教育・読書推進班

(tel)

5184

担当課長名

中田善英

担当者名

加藤琢大

評価対象事業(計画)の内容

事業年度

令和04年度

～

令和06年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)

学習指導要領の改訂や児童生徒が抱える課題の多様化、新型コロナウイルスの影響等により、体験活動の意義や目的を再確認する必要がある。また、これからはコロナ後を見据えた持続可能な体験活動の展開も企図する必要がある。そこで、少年自然の家の体験活動プログラムを、ニューノーマルに対応できる充実したものとすることで、体験活動の有用性や意義を確保し、子どもたちに、変化の激しい未来社会を生き抜いていく上で必要となる自律性・協働性・創造性等の豊かな心の育成を図る。

2. 住民ニーズの状況

①ニーズを把握した対象

■ 受益者 □ 一般県民 (時期： 年 00 月)

②ニーズの把握の方法

□ アンケート調査 □ 各種委員会及び審議会 ■ ヒアリング □ インターネット

□ その他の手法 (具体的に)

③ニーズの具体的内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもたちが体験活動にふれる機会が著しく減少している。そこで、少年自然の家の受入体制を強化したり、活動で使用する教材・教具等の充実を図ったりするとともに、ニューノーマルに対応したプログラムを工夫したりしながら、主催事業等を再構築していく必要性が高まっている。

◎把握してない場合の理由及び今後の方針

①理由

②今後の方針

5. 事業の全体計画及び財源

単位(千円)

順位

事業内訳

左の説明

04年度

05年度

06年度

07年度

08年度

09年度

全体(最終)計画

01

ニューノーマルに対応した体験活動構築事業

ニューノーマルに対応した、有意義でダイナミックな体験活動を展開するため、少年自然の家の環境・体制整備と職員研修を実施する。

8,135

8,135

8,135

0

0

0

24,405

財源内訳

左の説明

8,135

8,135

8,135

0

0

0

24,405

国庫補助金

4,066

4,066

4,066

0

0

12,198

県債

0

0

0

0

0

0

その他

6

6

6

0

0

18

一般財源

4,063

4,063

4,063

0

0

12,189

